

【ロールモデルに刺激を受ける！ 女性社員モチベーションアッププログラム】

株式会社シンスターお問合せ窓口：

Tel 03-5728-4305 URL: <http://www.shinstar.co.jp/>

Mail: info@shinstar.co.jp

1.はじめに:女性社員を置いてけぼりにしない取り組みを！

この度は、シンスターの資料をダウンロード頂きありがとうございます。

皆様は、今、自社の女性活躍推進でどのような取り組みをすべきかご検討されている最中でしょうか？女性活躍推進の風が吹いている昨今、多くの企業で、経営陣・管理職の意識改革、全社的な啓蒙、女性管理職の育成機会を増やす等、様々な取り組みをしています。



ダイバーシティや女性活躍の推進を全社的な戦略の一つとして取組む際には、適切なステップと施策が必要ですが、シンスターでは、その取組みの際に、ぜひ対象となる女性たちの気持ちを置いてけぼりにしないで欲しいと願っています。

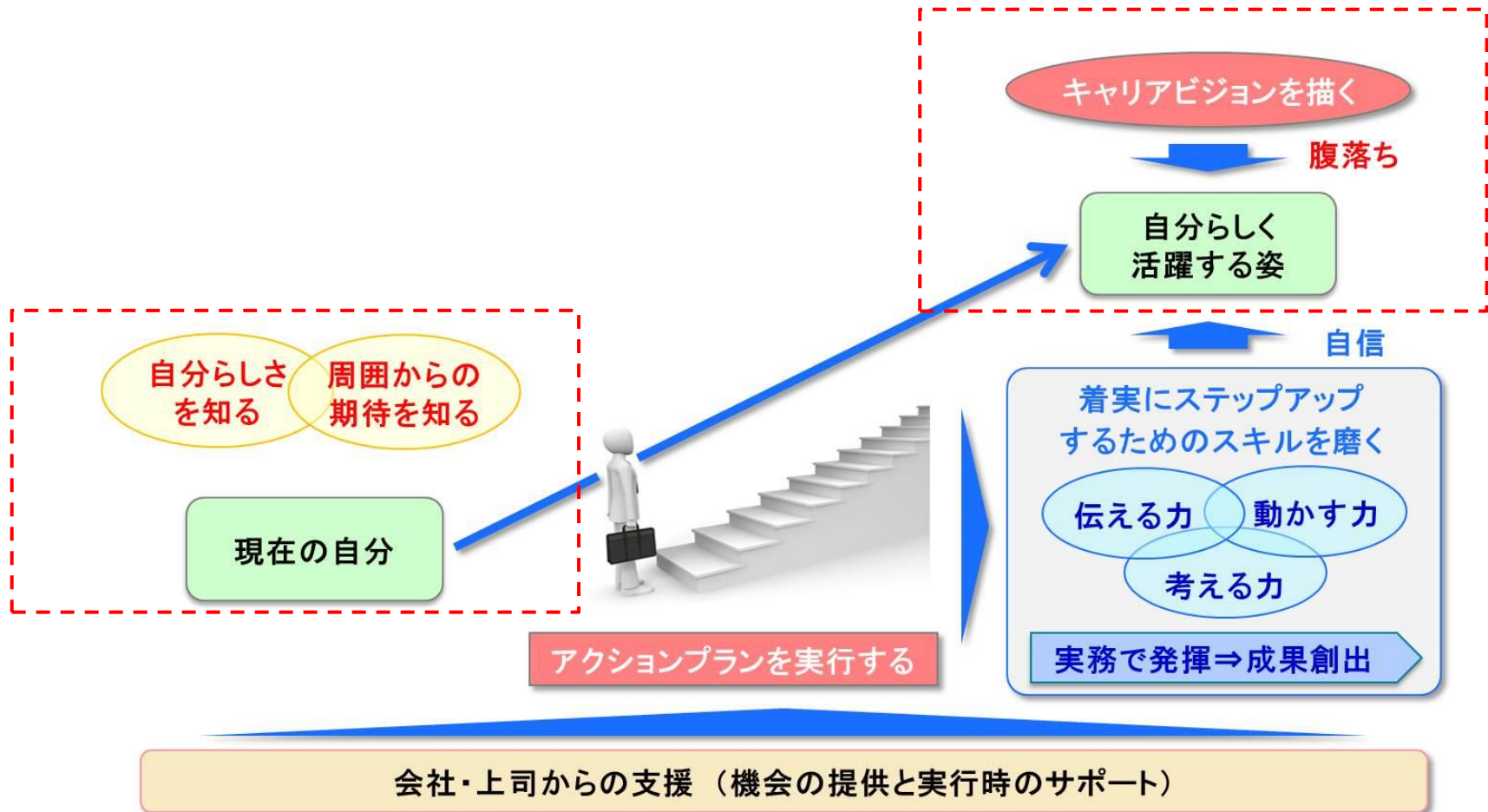
「キャリアアップする」と一言でいっても、管理職になることなのか？重要な仕事を任せられることなのか？経歴を高めることなのか？人によってその捉え方はまちまちで正解はありません。

ですが、その中で一番大切、かつコアとなるべき事は、**女性本人が「仕事が楽しく、充実している」と感じることであり、その結果として社会や会社に貢献する、**というサイクルが女性活躍推進の理想の形なのではないかとシンスターは考え、その概念を基に全てのプログラムを設計しています。

皆様の会社で働く一人でも多くの女性社員の方たちが「仕事って楽しい！」と語れるようになり、その原動力が将来的に御社のビジネスの発展に貢献するお手伝いをさせて頂けますと幸いです。

2. シンスターの考える女性活躍推進

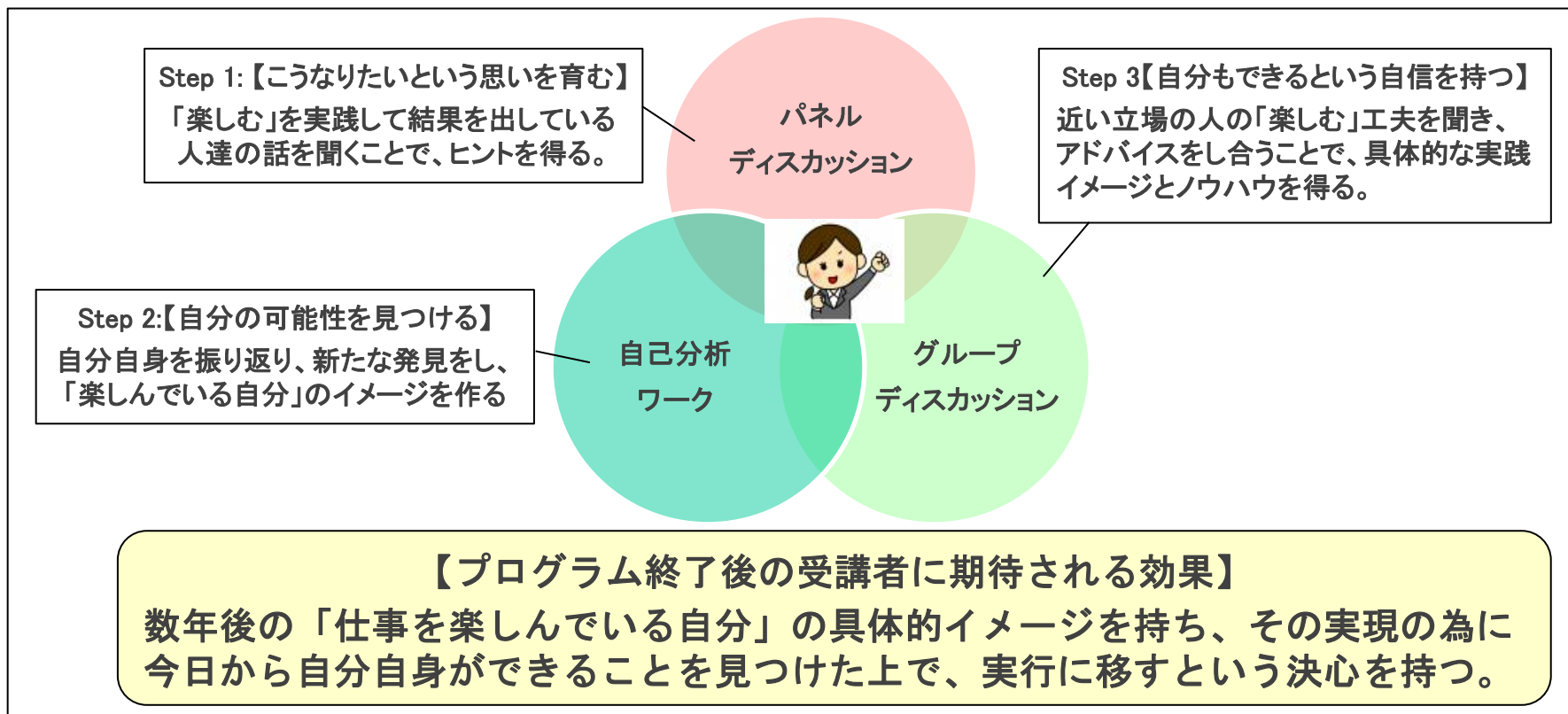
女性個人が光り輝き会社に貢献できるようになる為に、キャリアビジョンを設計することだけでなく、実際に女性たちが仕事に戻った際に必ずぶつかる「スキル不足」の壁を同時に取り払うことで、よりスムーズにキャリアビジョンの実現ができるようサポートをします。本プログラムは、主に赤枠の部分にフォーカスして女性のモチベーションアップをはかります。



3. 本プログラムの狙いと構成概要

仕事でもプライベートでも上手く行く時とそうでない時があるのは当然ですが、その浮き沈みを上手く利用して、プラスに変える事が出来る人と、その波に吞まれてしまう人がいます。マイナスをプラスに上手く変えて結果を出している人たちは単にラッキーなだけでしょうか？

シンスターは、「楽しんでいる」人達は、その人なりに自分自身の特性を知り、それに基づいてプランを考え、さらには実際にそのプランを実行にうつしているからと考えます。それは人から見たら一見とても難しく「あの人だからできた」と思えるかもしれませんが、自分では気づいていないだけで、どんな人にも物事をプラスに変える力があるはずで。本プログラムは、女性社員たちのそんな力を引出し、「楽しんで仕事をするためのヒントを得る」ことを狙いとしています。



4.【自分の「なりたい姿」を見つけよう】プログラムの全体構成例

以下は1日版の標準のプログラムアジェンダです。個社の検討テーマ、取組みの進捗、受講対象層によって内容を変更させていただきます。また、3時間版、半日版等、アレンジは可能ですのでご相談ください。公開セミナーの様子がシンスターのブログサイト<https://ameblo.jp/shinstar-blog/entry-12199819690.html>からご覧いただけます。

アジェンダ	狙いと概要
キャリアとは？	【キャリアビジョンや自分の目標を持つことの大切さを理解する】 自社がなぜこのような取組みを推進しているのか？自分たちに期待されていること何か？を理解した上で、自身にとっての「キャリアアップ」とは何かを考える。
パネルディスカッション	【ロールモデルになり得る人達の話やヒントを得る】 社内、または外部のロールモデルとなり得る方によるパネルディスカッション。ご自身のキャリアでのピンチやマイナスの時をどう乗り越え、その要素をプラスに変えていったか、またその際の自分なりの工夫やポイントを聞くことで「楽しむ」ヒントを得る。
自己分析ワーク	【自身を見つめ直し、自己の価値観・強み・弱み等を理解する】 自身の置かれている状況を整理した上で、自分の強みや弱みを理解し、それが自分自身の「楽しむ」にどう影響を及ぼしているかを深堀する。同時に他者から見た自分の特徴やいい所を客観的に知る事で、新たな発見につなげる。
未来イメージの形成	【自身のなりたい姿を具体的にイメージすることで目標を持つ】 パネルディスカッションと自己分析ワークを参考に、「楽しみながら仕事をしている」自分自身のありたい姿を具体的にイメージし、そのためにすべきことは何かを考える。
グループディスカッション	【近い立場にいる他受講生と自身の思いを共有し、具体的な実践イメージと自信を得る】 自分の未来イメージの実践のために不安に思う事、アドバイスが欲しい事、他の人に聞いてみたい事などをぶつけ合い、お互いに助言をしようことで、具体的なノウハウや実践できるという自信を得る。同時に社内における横のつながりのネットワークを創り上げる。
まとめ	【イメージの達成に向けて、具体的なアクションを考え、実行するという意識を持つ】 行動宣言を行い、未来の自分からのメッセージ、受講者からのメッセージを作ることで、変るためには自分の意識と行動がなければならないという意識を強く持つ。

5. 導入企業・受講者からの声



楽しみは人任せではなかなかやっこない。自分で考えて動くことで楽しみが近づいてくる。考えたり悩んだりしたことは、具体的に動いてみるのが大事。今後の人生でヒントになるキーワードをいただきました。頑張っている仲間と情報交換できたのも有意義でした。(受講者 30代 メーカー営業職)



事前ワークと自己分析の手法で今自分の現状を客観的に把握でき、パネラーの方やグループディスカッションで周りの話を聞くことでより「なりたい自分」が明確になりました。固すぎず「楽しみ」ながらというコンセプトに沿ったプログラムだったと思います。(j受講者 20代 コールセンター)



将来のビジョンが描けておらず、ただただ毎日忙しく働くというだけだったので、3年後どうなっていたいかという事を具体的に考えようなる為に自分の強みや弱みをどうすればいいのかという事を書きだす事で、自分がやるべき事が分かりとてもスッキリ?！しました。(受講者 30代 マスコミ)



今後の自身のビジョンについて考えさせるキャリア研修の一環として導入。業界的にも女性比率が低くロールモデルが社内にはいないこと、また働く女性として選択の幅が広い中で、近い業界で活躍する方をパネラーとして招き、お話をきけたことは受講者にとって非常に得るものが多かったように感じた。(企画担当者)



出産を経て復帰した人の例が少ないことから、キャリアを不安視し、モチベーションが全く上がらない層に対して研修を導入。同じような悩みを抱えた経験がありそれを乗り越えた人から話を聞くこと、また社内で同じ悩みを共有できたことが「自分だけではないから頑張ろう」という気持ちにつながったようだ。ワークは自分の現状を俯瞰するのにふさわしい内容だったと感じている。(企画担当者)